

# 資本主義と社会主義



## (I) 資本主義の成立

### 【復習】資本主義経済と社会主義経済の違い

[ **資本主義経済** ]

な経済

財産を私有する自由・競争する自由

- ①生産手段は **私有**...
- ② **利潤** の追求をする
- ③市場において **自由競争** をする

[ **社会主義経済** ]

な経済

財産は国のもの・国の計画で平等に分配

- ①生産手段は **社会的** 所有 (=国が管理)
- ②国による **計画経済** を実施  
= 自由な競争はしない

### どのような背景で、資本主義経済が確立したのだろうか？

#### ■ 資本主義の成立(イギリス)

15世紀末～ [1] ](エンクロージャー)

= 共同農地から農民を追い出して私有地にすること

土地を追われた農民が都市に流入し、労働者としての生活が余儀なくされる



18世紀後半 [2] ]

- ・工場制手工業 ([3] )に代わり、**工場制機械工業**が発展
- ・経営者が工場などの設備をもち生産をおこなうようになり、**自由競争**がはじまる

**資本主義経済の確立** → 結果、格差が生まれる : **資本家階級** と **労働者階級**  
生産手段の所有者 ↔ 労働力を売るだけ

#### \* 18世紀ごろの経済思想

★入試頻出

😊 [4] ) [5] (諸国民の富)』(1776)

[6] ] (=レッセ・フェール) を基調とする経済を理想

国は民間の経済活動に手を出さず、**自由にさせればいい。**

国防や司法などの必要最低限の活動に専念する国家 = [7] ] を理想

⇒ 各人が自由な経済活動をすれば、神の [8] ] によって調整される

彼の思想が自由貿易を拡大させ、イギリスの植民地拡大へとつながった



経済学の父

↓ その後、資本主義経済はどのように変容したか…

## (II) 資本主義の修正

\* 19 世紀半ば～20 世紀前半

- ・自由競争の勝者が市場の独占
- ・貧富の差がますます拡大。失業者増加。資本主義経済への不満高まる。

資本主義経済への不満が募る中、大事件発生 = 1929<sup>[9]</sup> ]

マルクスによって体系

資本主義経済への不満

新たな道を模索

社会主義経済へ変革

\* 20 世紀前半～ **修正資本主義**

1933～<sup>[10]</sup> ] (米大統領：<sup>11</sup> )

大規模な 公共投資 (政府による投資) を行い、失業者を保護 ← **政府の積極的関与**

### \* 20 世紀前半の経済思想

★入試頻出

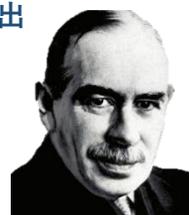
👤<sup>[12]</sup> ) 『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936)

・<sup>[13]</sup> ) の創出を主張

↓ 経済が停滞したら、政府が需要のあるものを創出して、不況を克服

・国による完全雇用の実現 = <sup>[14]</sup> ) を理想

・民間部門と公共部門が相互補完的な役割を果たす = <sup>[15]</sup>



ケインズ革命

### \* 社会主義経済の経済思想

👤<sup>[16]</sup> ) 『資本論』『共産党宣言』 + α 👤<sup>[17]</sup> )

従来の社会主義思想を空想的と批判し、科学的社会主義理論の確立に努めた

目指したのは<sup>[18]</sup> ) の無い世界！

↓ マルクスの思想が世界に影響を与える

1917 年 👤 **レーニン** が<sup>[19]</sup> ) を成功させ、世界初の社会主義国家(**ソ連**)が誕生(1922)

その後、第二次世界大戦後には **中国や東欧諸国** も、ソ連の影響を受けて社会主義国へ

↓ 計画経済は労働者の意欲を損ない、成功に至らず…

1980 年後半には自由化の波が社会主義国に押し寄せた

ソ連：1980 年代後半 👤 **ゴルバチョフ** による<sup>[20]</sup> ) (立て直し)

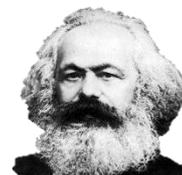
→ 建て直しも及ばず、1991 年に **ソ連解体** → **独立国家共同体**<sup>[21]</sup> ) が誕生

東欧：自由化を推し進め、社会主義を放棄 (**東欧革命**)

中国：1993 年より **社会主義市場経済** を導入し、対外的には<sup>[22]</sup> ) 政策が採用

1997 年に **香港**・1999 年に **マカオ** が返還されたが、この二国は資本主義を採用しているため

中国内に資本主義と社会主義が共存する仕組みとなっている = <sup>[23]</sup> )



\* 1970 後～1980 前 ケインズ政策の限界 ⇒ 再び「小さな政府」 へ = <sup>[24]</sup> ]

※アメリカの経済学者<sup>[25]</sup> ) などによって主張された (**マネタリズム**)

財政によって完全雇用を目指すケインズ政策を否定し、規制緩和や民営化による市場機能回復を図る

例：👤 サッチャー (英)、👤 レーガン政権 (米)、👤 中曽根政権 (日)、などが影響

# 資本主義と社会主義



## (I) 資本主義の成立

### 【復習】資本主義経済と社会主義経済の違い

#### [ 資本主義経済 ]

**自由**な経済

財産を私有する自由・競争する自由

- ①生産手段は **私有**
- ② **利潤** の追求をする
- ③市場において **自由競争** をする

#### [ 社会主義経済 ]

**平等**な経済

財産は国のもの・国の計画で平等に分配

- ①生産手段は **社会的** 所有 (=国が管理)
- ②国による **計画経済** を実施  
=自由な競争はしない

### どのような背景で、資本主義経済が確立したのだろうか？

#### ■ 資本主義の成立(イギリス)

15世紀末～ [1 **囲い込み**] (エンクロージャー)

= 共同農地から農民を追い出して私有地にすること



土地を追われた農民が都市に流入し、労働者としての生活が余儀なくされる

18世紀後半 [2 **産業革命**]

- ・工場制手工業 ([3 **マニュファクチュア**]) に代わり、**工場制機械工業**が発展
- ・経営者が工場などの設備をもち生産をおこなうようになり、**自由競争**がはじまる

**資本主義経済の確立** → **結果、格差が生まれる** : **資本家階級** と **労働者階級**  
生産手段の所有者 ↔ 労働力を売るだけ

#### \* 18世紀ごろの経済思想

★入試頻出

👤 [4 **アダム=スミス**] 『5 **国富論** (諸国民の富)』 (1776)

[6 **自由放任主義**] (=レッセ・フェール) を基調とする経済を理想

国は民間の経済活動に手を出さず、**自由にさせればいい。**

国防や司法などの必要最低限の活動に専念する国家 = [7 **小さな政府**] を理想

⇒ 各人が自由な経済活動をすれば、神の [8 **見えざる手**] によって調整される

彼の思想が自由貿易を拡大させ、イギリスの植民地拡大へとつながった



経済学の父

↓ その後、資本主義経済はどのように変容したか…

## (II) 資本主義の修正

\* 19世紀半ば～20世紀前半

- ・自由競争の勝者が市場の独占
- ・貧富の差がますます拡大。失業者増加。資本主義経済への不満高まる。

資本主義経済への不満が募る中、大事件発生 = **1929<sup>[9]</sup> 世界恐慌** ]

マルクスによって体系

資本主義経済の見直し

新たな道を模索

社会主義経済へ変革

\* 20世紀前半～ **修正資本主義**

1933～ [<sup>10</sup> **ニューディール政策** ] (米大統領: <sup>11</sup> **F. ルーズベルト** )

大規模な 公共投資 (政府による投資) を行い、失業者を保護 ← **政府の積極的関与**

### \* 20世紀前半の経済思想

★入試頻出

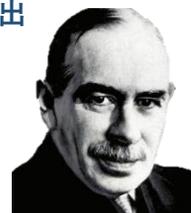
👤 [<sup>12</sup> **ケインズ** ] 『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936)

- ・ [<sup>13</sup> **有効需要** ] の創出を主張

↓ 経済が停滞したら、政府が需要のあるものを創出して、不況を克服

- ・ 国による完全雇用の実現 = [<sup>14</sup> **大きな政府** ] を理想

- ・ 民間部門と公共部門が相互補完的な役割を果たす = [<sup>15</sup> **混合経済** ] **ケインズ革命**



### \* 社会主義経済の経済思想

👤 [<sup>16</sup> **マルクス** ] 『資本論』『共産党宣言』 + α 👤 [<sup>17</sup> **エンゲルス** ]

従来の社会主義思想を空想的と批判し、科学的社会主義理論の確立に努めた  
目指したのは [<sup>18</sup> **搾取** ] の無い世界!

↓ マルクスの思想が世界に影響を与える

1917年 👤 **レーニン** が [<sup>19</sup> **ロシア革命** ] を成功させ、世界初の社会主義国家(**ソ連**)が誕生(1922)

その後、第二次世界大戦後には **中国や東欧諸国** も、ソ連の影響を受けて社会主義国へ

↓ 計画経済は労働者の意欲を損ない、成功に至らず…

1980年後半には自由化の波が社会主義国に押し寄せた

ソ連: 1980年代後半 👤 **ゴルバチョフ** による [<sup>20</sup> **ペレストロイカ** ] (立て直し)

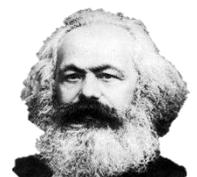
→ 建て直しも及ばず、1991年に **ソ連解体** → **独立国家共同体** (<sup>21</sup> **CIS**) が誕生

東欧: 自由化を推し進め、社会主義を放棄 (**東欧革命**)

中国: 1993年より **社会主義市場経済** を導入し、対外的には [<sup>22</sup> **改革・開放** ] 政策が採用

1997年に **香港**・1999年に **マカオ** が返還されたが、この二国は資本主義を採用しているため

中国内に資本主義と社会主義が共存する仕組みとなっている = [<sup>23</sup> **一国二制度** ]



\* 1970後～1980前 ケインズ政策の限界 ⇒ 再び「小さな政府」へ = [<sup>24</sup> **新自由主義** ]

※アメリカの経済学者 [<sup>25</sup> **フリードマン** ] などによって主張された (**マネタリズム**)

財政によって完全雇用を目指すケインズ政策を否定し、規制緩和や民営化による市場機能回復を図る

例: 👤 **サッチャー** (英)、👤 **レーガン** 政権 (米)、👤 **中曽根** 政権 (日)、などが影響